

2019 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	金山 正子	職名	教授	学位	修士(経済学)
----	-------	----	----	----	---------

研究分野	研究内容のキーワード
基礎看護学、看護教育、臨床看護学	看護教育、看護学生、看護倫理、看護実習

研究課題
看護学生の看護倫理に対する意識についての教育効果の研究

担当授業科目
看護学概論、看護倫理、看護技術論、看護過程論、診療関連技術論演習、生活援助技術論演習、フィジカルアセスメント技術演習、基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ、看護総合演習、看護総合実習、看護研究演習

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【 看護学概論 】</p> <p>1年次前期の科目であり、「人間」「環境」「健康」「看護」の概念、および、ナイチンゲールとヘンダーソンの看護に対する考え方について、個人学習によるレポート作成とグループ学習を導入し発表会を行い、相互に学ぶ機会を設定した。また、看護のエピソードや看護事例の紹介、DVD の視聴などを導入し理解を助ける工夫を行った。講義終了前に、質問・感想の記入用紙を配布し、学生の意識や反応を確認するようにした。</p>
<p>授業科目名【 看護倫理 】</p> <p>2年次後期に看護者の倫理綱領、看護倫理の原則、倫理的課題、倫理的意思決定の方法などの基礎的知識の修得をめざし、講義を行った。事例検討をグループ学習し発表することにより、相互に理解が深まるように工夫した。また、過去の国家試験問題を練習問題とし、考える時間を作るようにした。講義終了前に、質問・感想の記入用紙を配布し、学生の意識や反応を確認するようにした。</p>
<p>授業科目名【 看護技術論 】</p> <p>1年次前期の科目であり、コミュニケーション、ベッドメイキングなどの講義・演習と早期看護実習が円滑に進むようにした。また、学生には看護衣の着用、身だしなみチェック、実習室使用のオリエンテーションなど、具体的に説明を行い、ベッドメイキングやシーツ交換、手洗いなどの基礎的な基本技術を実践できるように複数の教員で技術の指導を行った。早期看護実習では2日間、実習病院に引率し、病院や看護の見学を安全に行うことができるように調整した。実習終了後は、実習の学びをパワーポイント使用による発表会を行い、実習成果のレポートを作成できるように指導を行った。</p>
<p>授業科目名【 看護過程論 】</p> <p>2年次前期に看護過程論のグループ学習において、学生の学習内容を把握し、事例患者の理解や情報整理、アセスメント、全体像の把握、問題の抽出、計画立案などのプロセスに従って、学習が進むように、助言や指導、提出物へのコメントなどを工夫した。</p>

<p>授業科目名【診療関連技術論演習】</p> <p>2年次前期に複数の教員とともに、診療関連技術演習への指導を行った。技術の演習では、手順だけでなく、根拠を考慮すること、患者への安全、安楽、自立に十分配慮することや、対象への愛護的なかわり、声掛け、説明の方法やプライバシーへの配慮など、看護の基本技術に必要な助言・指導を行うように工夫した。</p>
<p>授業科目名【生活援助技術論演習】</p> <p>1年次後期に、複数の教員とともに、学生生活援助技術演習への指導を行った。技術の演習では、手順だけでなく、根拠を考慮すること、患者への安全、安楽、自立に十分配慮することや、対象への愛護的なかわり、声掛け、説明の方法やプライバシーへの配慮など、看護の基本技術に必要な助言・指導を行うように工夫した。</p>
<p>授業科目名【フィジカルアセスメント技術演習】</p> <p>1年次後期に、複数の教員とともに、フィジカルアセスメント技術演習への指導を行った。技術の演習では、手順だけでなく、根拠を考慮すること、患者への安全、安楽、自立に十分配慮することや、対象への愛護的なかわり、声掛け、説明の方法やプライバシーへの配慮など、看護の基本技術に必要な助言・指導を行うように工夫した。</p>
<p>授業科目名【基礎看護学実習Ⅰ】</p> <p>1年次生2月の1週間の実習である。学内での実習前準備として、ロールプレイを導入したコミュニケーション演習やプロセスレコードの説明・演習を行った。また、1年次に学習した看護技術を実践できるように練習し、病棟での実習に繋がるように配慮した。実習前に、病院指導者と教員で指導者会議を行い、受け持ち患者の選定やスケジュールなどを調整し、複数の教員が学生を担当して、実習指導を行った。</p>
<p>授業科目名【基礎看護学実習Ⅱ】</p> <p>2年次生9月の2週間の実習であり、看護過程にそって実習指導を行った。事前に実習病院の実習指導者と指導者会議を行い、受け持ち患者の選択や実習スケジュールなどの調整を行った。学生の学習については、受け持ち患者の情報収集と整理、アセスメント、全体像の把握、問題の抽出、計画立案、実施、評価のプロセスに従って、実習が円滑に進むように、工夫した。</p>
<p>授業科目名【看護総合演習】</p> <p>4年生の基礎看護学領域看護技術分野を担当した。看護総合演習では学生の希望するテーマの設定、自己学習、実習計画書の作成に対して、助言を行った。また、実習前に学生が病棟指導者と打ち合わせを行い、実習に必要な準備を行う機会を調整した。</p> <p>実習終了後は実習体験をもとにテーマにそって学生がレポートを作成できるように、助言指導を行った。</p>
<p>授業科目名【看護総合実習】</p> <p>看護総合演習で作成した実習計画書に基づいて、各学生が2週間の看護総合実習を行うように指導した。</p> <p>7月初旬に1名、8月下旬に6名の学生がテーマにそって主体的に実習を行うことができるように、実習指導者と学生、教員とで打ち合わせを行い、受け持ち患者の選定とスケジュールについて調整した。また、教員として、受け持ち患者に対する実習の説明と同意を得る手続き、電子カルテ利用に必要な手続きを行い、実習中の実習状況の確認など、学生の実習が円滑に進むように配慮した。</p>
<p>授業科目名【看護研究演習】</p> <p>4年次の選択科目であり、通年で看護研究のプロセスに従って研究に取り組み、研究論文を作成する科目である。受講学生の他の科目履修状況に配慮して時間調整し、学生の主体的取り組みへの助言を行った。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本看護研究学会		1990～現在
日本看護科学学会		1990年-2012年、2014年～現在

2019年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) なし				
(学術論文) なし				
(翻訳) なし				
(学会発表) なし				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
なし			

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
なし			

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期等
西南女学院大学 認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	講師	2019年6月
西南女学院大学 認定看護管理者教育課程 セカンドレベル	講師	2019年10月
北九州市立年長者研修大学校 周望学舎シニアサマーカレッジ	講師	2019年8月

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
学生委員会委員 キャンパス・ハラスメント防止・対策委員長 看護学科 教務担当 1年生アドバイザー 4年生アドバイザー